

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 Y-230d

シリアルNo.

お買い上げ日

年 月 日

お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。

保証期間

対象部分 機器本体(消耗部品は除く)

お買い上げの日から3年

お客様
お名前
ご住所

様

TEL ()

販売店
店名・住所

上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイ、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

Y-230d

取扱説明書 12V車対応



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。



SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら…	10
SDカードをフォーマットする	12

基礎知識

各部の名称と働き	14
1. 付属品	16
2. 別売品	17
3. 付属品・別売品の購入について	17

SDカードの取り外し/装着	18
1. SDカードを本体から取り外す	18
2. SDカードを本体へ装着する	18

動画記録モード	19
---------------	----

録画について	20
1. 常時録画	22
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	22
3. 上書き設定について	23

駐車記録について	25
1. タイムラプスモード	25

メンテナンスについて	28
------------------	----

初期値について	29
---------------	----

すぐを使う

本機の取り付け	30
1. フロントカメラユニットを取り付ける	31
2. リアカメラユニットを取り付ける	33
3. リアカメラケーブルを接続する	34
4. 電源を接続する	35

別売品の取り付け	37
1. 12V/24V 対応電源直結コード (OP-E1160)の接続方法	37
2. マルチバッテリー (OP-MB4000)の接続方法	37

3. 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01)の接続方法	41
--	----

電源 ON ~ OFF までの手順	45
-------------------------	----

1. 電源 ON (録画を開始する)	45
2. 録画を停止する	46
3. SDカードをフォーマットする	46
4. 録画を再開する	47
5. ワンタッチ記録をする	47
6. 音声録音を ON/OFF する	48
7. 画面表示を切り替える	48
8. 電源 OFF (録画を停止する)	48

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	51
-------------------	----

1. 設定メニューを表示する	51
2. 録画を再開する	51

設定メニュー	52
--------------	----

SD初期化(フォーマット)	54
---------------------	----

1. SDカードをフォーマットする	54
-------------------------	----

再生する

再生モードの表示・再生方法	55
---------------------	----

1. 再生モードを表示する	55
2. 本機で録画ファイルを再生する	56
3. 録画を再開する	57

再生モード	58
-------------	----

録画ファイルの削除	60
-----------------	----

1. 録画ファイルを削除する	60
----------------------	----

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する	62
----------------------	----

1. 準備する	62
2. 専用ビューアソフトを起動する	62
3. 録画ファイルを再生する	63
4. 専用ビューアソフトを終了する	64

専用ビューアソフト	65
-----------------	----

1. 専用ビューアソフトの画面について	65
2. 設定について	67

その他

録画ファイルの読み出しについて … 68

1. 専用ビューアソフトを使用せずに
録画ファイルを再生する …………… 69

こんなときは …………… 70

故障かな？と思ったら …………… 71

仕様 …………… 74

microSDカード対応一覧表…………… 76

1. 録画時間の目安 …………… 76
2. イベント記録の最大記録件数 …………… 76

索引 …………… 77

アフターサービス …………… 79

1. お客様ご相談センター …………… 79

保証書 …………… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- 警告：**「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
- 注意：**「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.79「アフターサービス」

- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

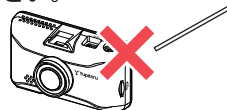
- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

- ❌ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

- ❌ 本機を改造しないでください。

故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

- ⚠️ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



- ❌ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

- ⚠️ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて(共通)

⚠️ 警告

- ❗️ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗️ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

- ❗️ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠️ 注意

- ❗️ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

- ❗️ 突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

- ❗️ 接続部は確実に奥まで挿し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

- ❗️ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

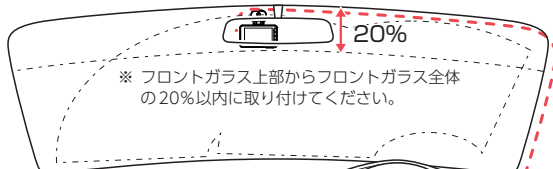
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下縁から15cm以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。

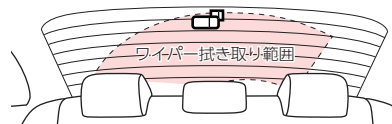
- ❗ 付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。

- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

⚠ 警告

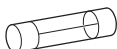
- ❗ 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

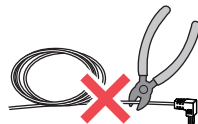


- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



注意

- ❗ 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

故障や感電の原因となります。必ずコネクタ部を持って抜いてください。

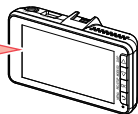


●SDカードについて

注意

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。

OFF



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて

注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❗ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

- ・ カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- ・ SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンへの保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ 付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近に配線を行うとラジオの受信感度が下がります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。
- ・本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- ・電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コード内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装をはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

もしも事故が起きたら…

事故発生



記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

付属品の電源コード接続時

1

車両を停止 (ACC OFF) する

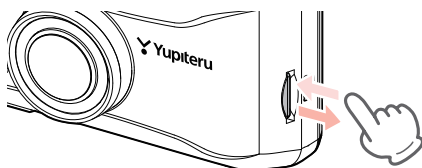


電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

電源ランプ

2

SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3

SDカードを保管する

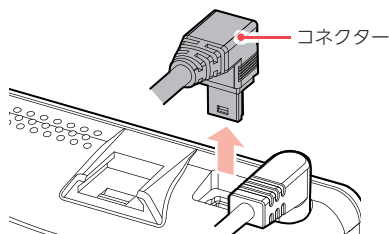
<保管場所について>

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。



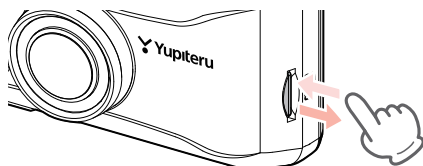
別売品のマルチバッテリーまたは 電圧監視機能付 電源ユニット接続時

1 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上
消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意
ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意
してください。SDカードは小さいため、
車内で落とすとシートの隙間などに入り
込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については ➡ P.10を参照してください。



バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマット
するの？



- ・付属品以外のSDカードを使用するとき。(初回のみ)
- ・解像度を変更するとき。(P.52)

※フォーマットを行うと、録画ファイルが全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※エラーメッセージ(P.70)が表示されている場合は、いずれかのボタンを押してからフォーマットを行ってください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

「▽ボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動(ACC ON)する

録画を開始します。

- ・電源ランプ(赤)が点灯
- ・記録マーク(赤)を表示

記録マーク



※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードをフォーマットしてください」と音声でお知らせし、フォーマット画面(3)を表示します。

2 OK ボタンを押す

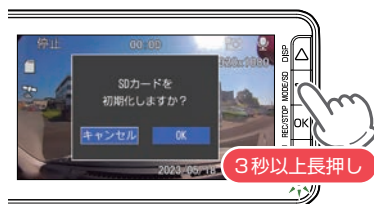
録画を停止します。

- ・電源ランプ(緑)が点灯
- ・記録マーク(停止)を表示



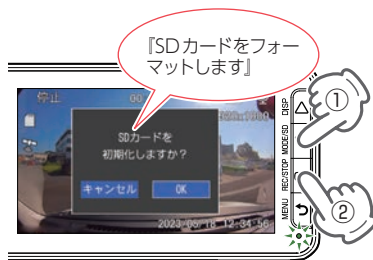
3 ▽ ボタンを3秒以上長押しする

フォーマット画面を表示します。

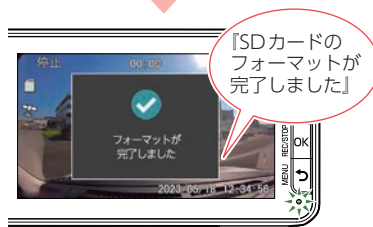


4 [OK] を選択し、OK ボタンを押す

フォーマットを開始します。



「SD フォーマット中です 電源を切らないでお待ち下さい」⇒「フォーマットが完了しました」と表示し、完了します。



5 OK ボタンを押す

メッセージ表示を閉じます。



6 OK ボタンを押す

録画を開始します。

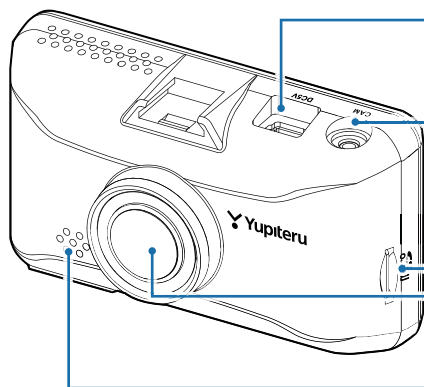


設定メニューからフォーマットする場合は、 P.54を参照ください。

各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

正面



DC ジャック (DC5V)

付属の電源直結コードを接続します。
(☛ P.35)

カメラジャック

付属のリアカメラケーブルを接続します。
(☛ P.34)

microSD カード挿入口

※ microSD カードがあらかじめ装着されています。

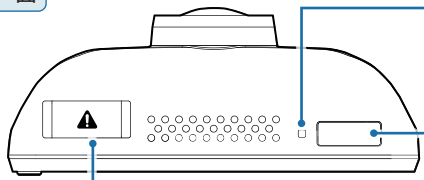
レンズ

※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。
ご使用時にはがしてください。

スピーカー

録画ファイルの音声などが出ます。

下面



リセットボタン

本体をリセットし、システムを再起動します。
(☛ P.15)

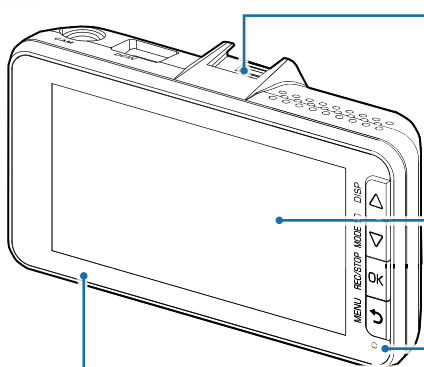
シリアルナンバー

製造番号が印刷されています。

▲ ボタン (記録ボタン)

ワンタッチ記録します。(☛ P.23、47)

背面



ジョイントレール

付属のブラケットを取り付けます。

フルカラー TFT 液晶ディスプレイ 3.0インチ

各設定画面を表示したり、記録中の映像や
記録後の映像を確認できます。

※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。
ご使用時にはがしてください。

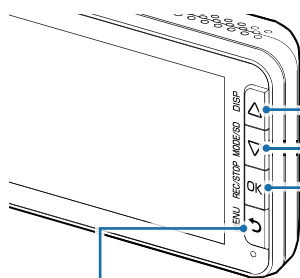
電源ランプ (赤/緑)

本体の動作状態をランプでお知らせします。
(☛ P.45)

マイク (本体内蔵)

周辺の音を収集します。

操作ボタン



⌂ ボタン (MENU)

設定メニューを表示します。
(☞ P.51)

△ ボタン (DISP)

映像を切り替えます。(☞ P.48)
3秒以上長押しで音声録音 ON/OFF します。
(☞ P.48)

▽ ボタン (MODE/SD)

再生モードを表示します。(☞ P.55)
3秒以上長押しでフォーマット画面を表示
します。(☞ P.12)

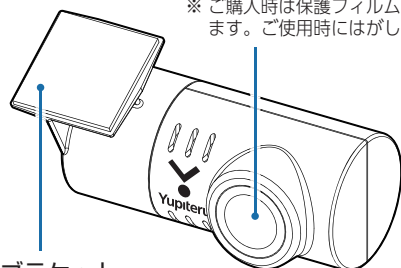
OK ボタン (REC/STOP)

録画の開始/停止します。(☞ P.45、46)
3秒以上長押しでタイムラプスモードへ切り
替えます。(☞ P.26)

■ リアカメラユニット

レンズ

※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあり
ます。ご使用時にはがしてください。

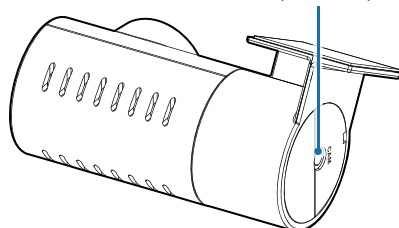


ブラケット

あらかじめ装着されています。
※ 両面テープが貼り付けてあります。

カメラジャック

付属のリアカメラケーブルを
接続します。(☞ P.34)



■ リセットボタンについて

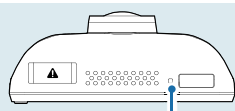
画面が固まって
動かない

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは



リセットボタンを
押して再起動して
ください。



リセットボタン

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下面のリセット
ボタンを押して、システムを再起動させてください。

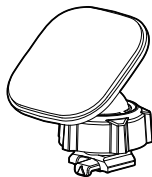
※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

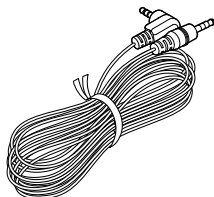
■ ブラケット 1

・フロントカメラ用 (☛ P.31)

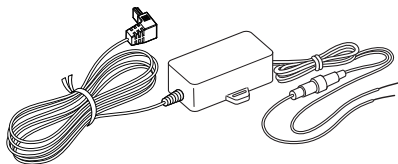


※ 両面テープが貼り付けてあります。

■ リアカメラケーブル(約9m) (☛ P.34) 1



■ 5V コンバーター付電源直結コード (約4m)(12V車専用) (☛ P.35) 1



■ ドライブレコーダー搭載 ステッカー 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。

■ microSDカード(16GB) 1 (本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) 1

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
- ・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

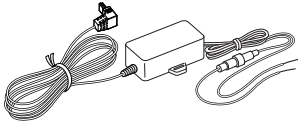
■ 電圧監視機能付 電源ユニット※1※2 OP-VMU01(12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(👉 P.41)

本体	1
入力コード	1
両面テープ	1

■ 12V/24V対応電源直結コード※1 (約4m) OP-E1160

車内アクセサリ端子から直接電源をとることができます。12/24V電源の車両に対応しています。(👉 P.37)



■ マルチバッテリー OP-MB4000(12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(👉 P.37)

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1

■ 専用microSDカード OP-SD32M(32GB) OP-SD64M(64GB)

※1：24V車に接続する場合、別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。

※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車のご使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

▼Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- ・電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

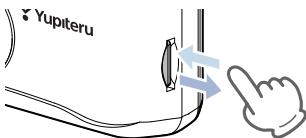
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めにフロントカメラユニットから電源コードを取り外してください。(▶ P.11)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

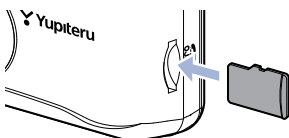
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車室内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する

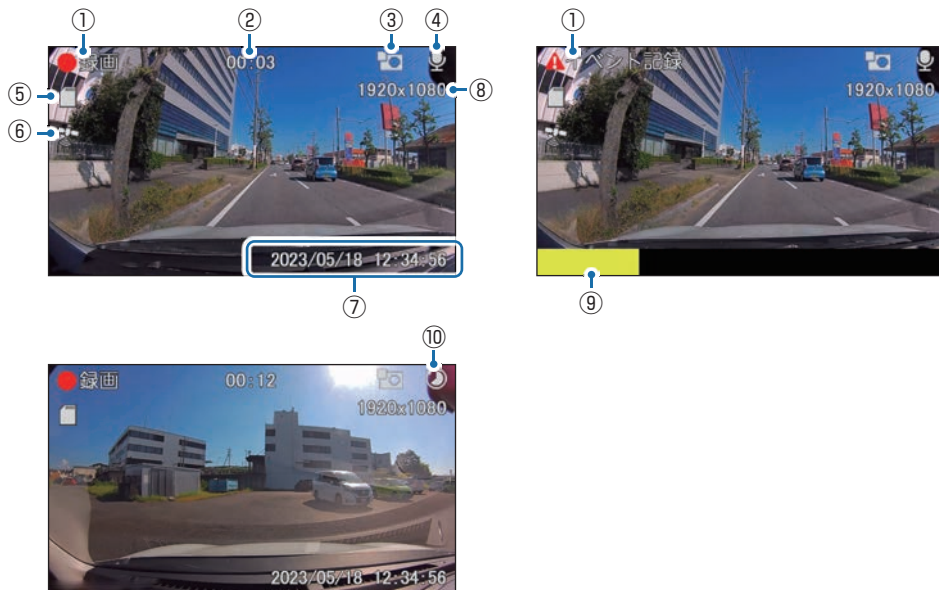


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	記録マーク	録画動作を表示します。 録画中：●(赤)アイコンの点滅と「録画」を表示します。 停止中：「停止」を表示します。 イベント記録中：▲(赤)アイコンの点滅と「イベント記録」を表示します。
②	記録時間※1※2	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。
③	リアカメラ接続アイコン	リアカメラの接続状態をアイコンで表示します。📷：接続、✖️：未接続
④	音声録音アイコン※3	音声録音の状態を表示します。🎤：ON、🔇：OFF
⑤	microSDアイコン	SDカードの挿入状態をアイコンで表示します。💾：挿入、✖️：未挿入
⑥	GPSアイコン※3	GPSの状態をアイコンで表示します。📶：測位、✖️：非測位
⑦	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑧	解像度	フロント/リアカメラで録画する解像度を表示します。
⑨	進捗バー	イベント記録での記録の進捗状況をバー(黄)で表します。右端までいくとイベント記録を終了します。
⑩	モードアイコン	タイムラプスモード中に🌀アイコンを表示します。

※1：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例 00:29→00:00→00:01…)

※2：タイムラプスモード中は1ファイル単位が15分になります。

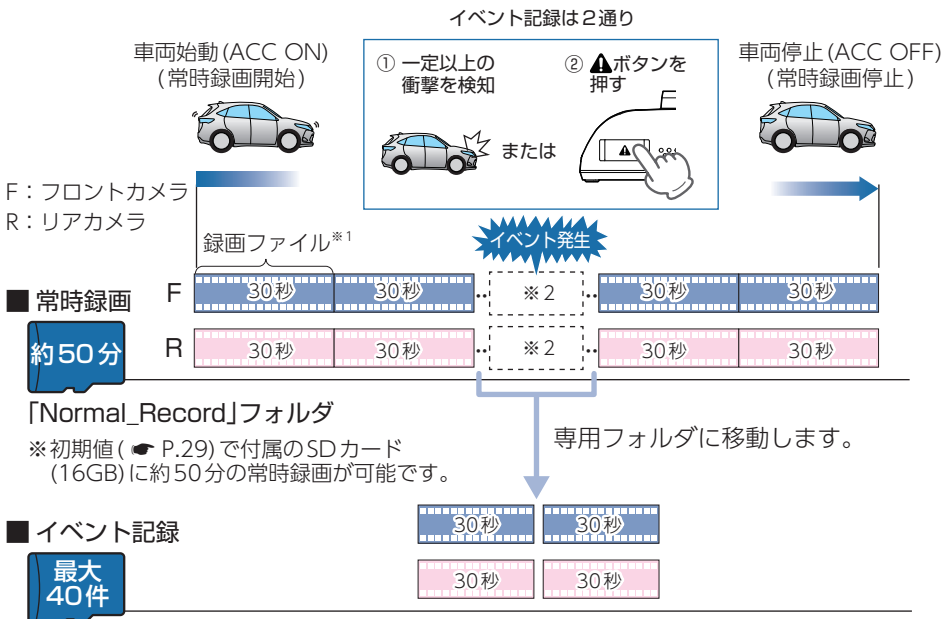
※3：タイムラプスモード中はアイコンが非表示になります。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機 能	
△ボタン (DISP)	短押し	映像を切り替えます。(P.48)
	長押し	3秒以上長押しで音声録音 ON/OFF します。(P.48)
▽ボタン (MODE/SD)	短押し	録画停止中に押すと、再生モードへ切り替えます。(P.55)
	長押し	録画停止中に3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。 (P.12)
OKボタン (REC/STOP)	短押し	録画を開始/停止します。
	長押し	録画中に3秒以上長押しでタイムラプスモードに切り替えます。 (P.26)
⤵ボタン (MENU)	短押し	録画停止中に押すと、設定メニューへ切り替えます。(P.51)
⚠ボタン (記録ボタン)	短押し	録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。(P.23)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



※1：タイムラプスモード中は約15分の映像が1ファイルになります。(P.25)

※2：イベント発生タイミグによって移動するファイルは異なります。

A：イベント発生タイミグが録画開始直後 ① の「0～15秒」の場合

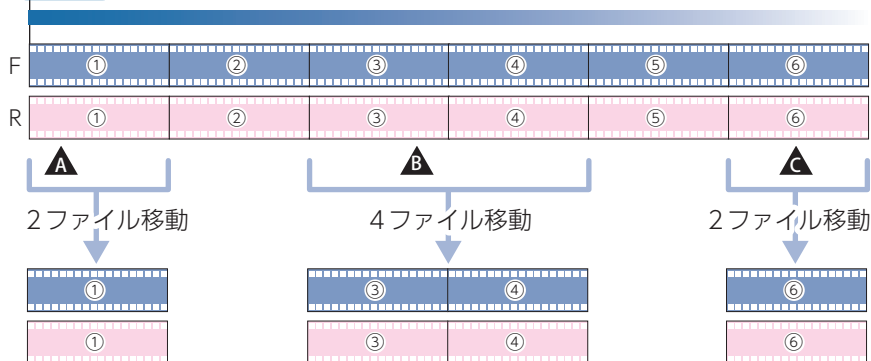
B：イベント発生タイミグが ③ の「16～30秒」の場合

C：タイムラプスモードでイベント発生タイミグが ⑥ の録画ファイル内の場合

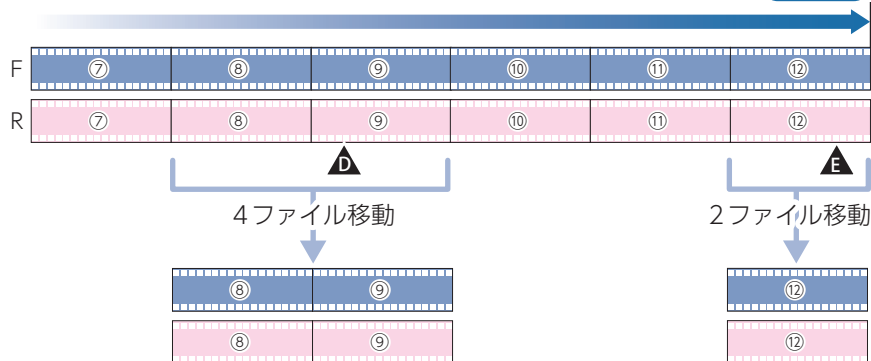
D：イベント発生タイミグが ⑨ の「0～15秒」の場合

E：イベント発生タイミグが録画終了前 ⑫ の「16～30秒」の場合

録画開始



録画停止



1. 常時録画

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画開始時に『録画を開始します』とお知らせし、● (赤) アイコンの点滅と「録画」を表示します。

※音量 [OFF] にしている場合、お知らせしません。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 30 秒で生成します。

・録画可能時間

初期値 (● P.29) で、付属のSDカード (16GB) に約 50 分の常時録画が可能です。SDカードの容量、解像度によって録画可能時間は異なります。(● P.76「録画時間の目安」)

・上書き設定

初期値では [上書き設定] が [全て上書き] のため、50 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.23「上書き設定について」)

2. イベント記録 (G センサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、G センサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『キンコン』と音が鳴り、画面下部に進捗バーを表示します。

※音量 [OFF] にしている場合、お知らせはしません。

※イベント記録中に電源 OFF した場合、フォルダ移動できず常時録画フォルダに残ってしまう場合があります。その際は、常時録画フォルダをご確認ください。(● P.55、63、69)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※ イベント発生タイミングによって移動するファイルは異なります。

・最大記録件数

初期値 (● P.29) で付属のSDカード (16GB) に、G センサー記録、ワンタッチ記録の合計 40 件の録画が可能です。SDカードの容量、解像度によってイベント記録件数は異なります。(● P.76「イベント記録の最大記録件数」)

・上書き設定

初期値では [上書き設定] が [全て上書き] のため、イベント記録の最大記録件数 (40 件) 以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.23「上書き設定について」)

■ G センサー記録

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Event_Record」フォルダ内に生成します。

※初期値では [G センサー記録：ON] となります。設定で [OFF] にすることもできます。(● P.20)

・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て[1.0G]となります。(☞ P.52)

一定以上の衝撃を検知



事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に▲ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「Event_Record」フォルダ内に生成します。

▲ボタンを押す



⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

3. 上書き設定について

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☞ P.52「設定メニュー」)

上書き設定		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
全て上書き (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして 録画を継続	上書きして 録画を継続
常時録画上書き	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして 録画を継続	録画の停止
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止

※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

■ 全て上書き(初期値)

常時録画、イベント記録がそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、記録を続けます。

■ 常時録画上書

SDカード容量の上限に達すると、古い常時録画を上書きし、録画を続けます。

イベント記録は、SDカード容量の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。

イベント記録
(Gセンサー記録/
ワンタッチ記録)

41 件目
開始時^{※1}

メッセージと音声^{※2}

イベント領域が
いっぱいです

■ 上書き禁止

常時録画、イベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での記録を停止します。

例①：イベント記録がSDカード容量の上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録もSDカード容量にかかわらず記録を停止します。

※イベント記録は、常時録画を移動した録画ファイルです。

常時録画

約50分
以上^{※1}

メッセージと音声^{※2}

SDカードが
いっぱいです

イベント記録
(Gセンサー記録/
ワンタッチ記録)

41 件目
開始時^{※1}

メッセージと音声^{※2}

イベント領域が
いっぱいです

※1：時間/件数はSDカードの容量、解像度により異なります。

※2：音量[OFF]にしている場合、音声は鳴りません。(P.52)

メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

駐車記録について

本機は駐車記録(車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと)用に「タイムラプスモード」があります。必要に応じてご使用ください。

※駐車記録には別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)が必要です。

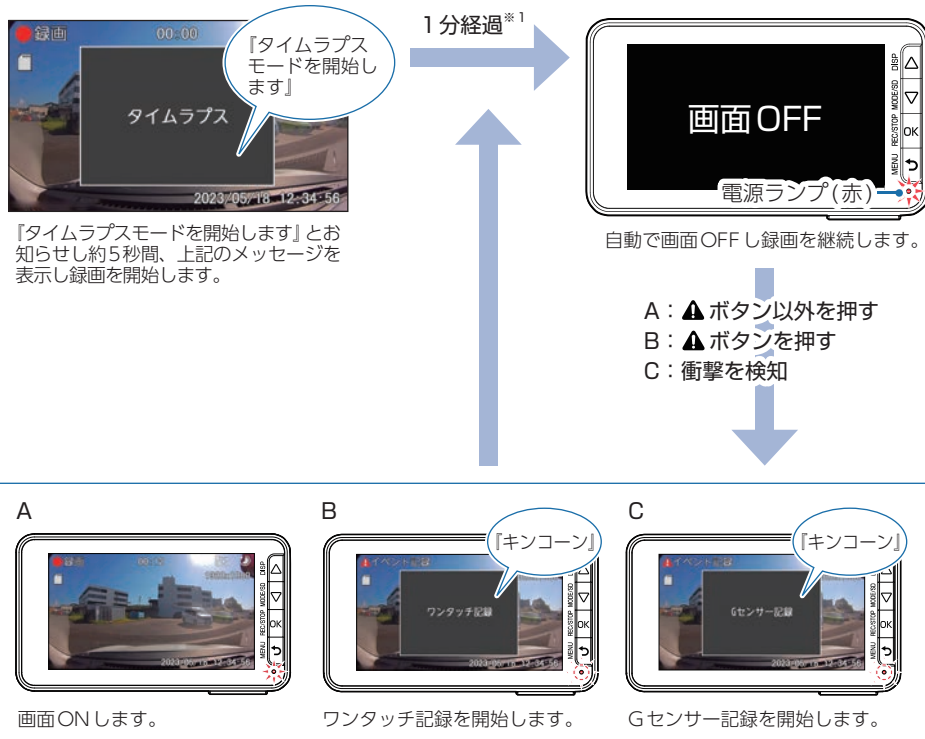
1. タイムラプスモード

駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモード(駐車監視)があります。別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)を接続して駐車記録を行う場合にご使用ください。

※タイムラプスモード中の常時録画は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため約15分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。

※タイムラプスモード中はGPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しません。

■ タイムラプスモード中の動作



※1：画面自動オフの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。

■ A：タイムラプスモードを開始する

A-1 車両を停止(ACC OFF)する

記録マーク



・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

A-2 OK ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモードで録画を開始します。

タイムラプスモード中は  アイコンを表示します。

※タイムラプスモード中は音声録音アイコン/GPSアイコンが非表示になります。

■ B：タイムラプスモードを終了する

※画面OFFの場合、▲ボタン以外を押して画面ONしてから行ってください。

B-1 タイムラプスモード中に、OKボタンを押す



タイムラプスモードを終了し、録画を停止します。
録画を開始する場合はOKボタンを押してください。

B-1 タイムラプスモード中に、OKボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモードを終了し、自動で録画を開始します。

タイムラプスモード中の映像について…

タイムラプスモード中の映像は、通常の録画ファイルと同様に常時録画は「Normal_Record」フォルダ、イベント記録は「Event_Record」フォルダに記録されます。本体で再生する場合は、フォルダ選択画面の「常時録画」または「イベント記録」から選択してください。



<フォルダ選択画面>

メンテナンスについて

■ 必要に応じてメンテナンス

・ 付属の電源直結コードのヒューズ交換

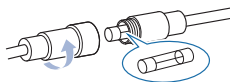
※交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズが切れている可能性があります。

- ① 電源コードが外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・ 別売品のヒューズ交換

※マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

※電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) : 交換用ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

※12V/24V 対応電源直結コード (OP-E1160) : 交換用ヒューズ 5A (20mm × 5.2mm)

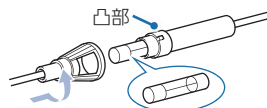
接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000、OP-VMU01>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

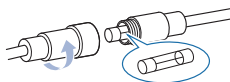
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



<OP-E1160>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説 明
解像度	1080P (1920 × 1080)	フロント/リアカメラの映像を1920 × 1080の解像度で記録します。
リアカメラ	正像	リアカメラの映像を正像で記録します。
音声録音	ON	映像と一緒に録音します。
音量	MID(中)	本機の音量を[MID]に設定しています。 ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音声、メッセージの音声、録画ファイル再生音に反映されます。
操作音	ON	操作時に音を鳴らします。
上書き設定	全て上書き	SDカード容量の上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (● P.23「上書き設定について」)
フリッカレス機能	60Hz	商用周波数を60Hz(西日本)に設定しています。 ※ フロントカメラのみ対応。
画面自動オフ	常時 ON	画面は常に ON の状態です。
Gセンサー設定	ON	Gセンサー記録を行います。(● P.22「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
言語	日本語	本機の言語を日本語で表示します。

※ 初期値を変更する場合は、 ● P.51 ～ 54「カスタマイズして使う」を参照ください。

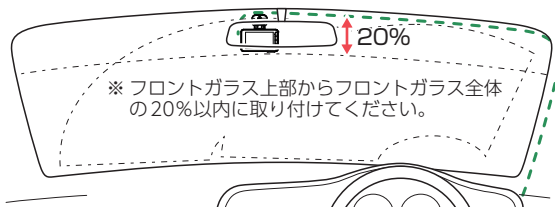
本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



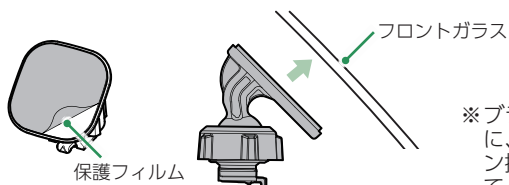
■ リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

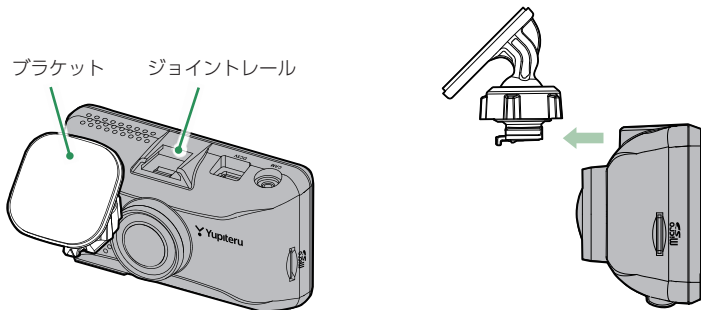


※ ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

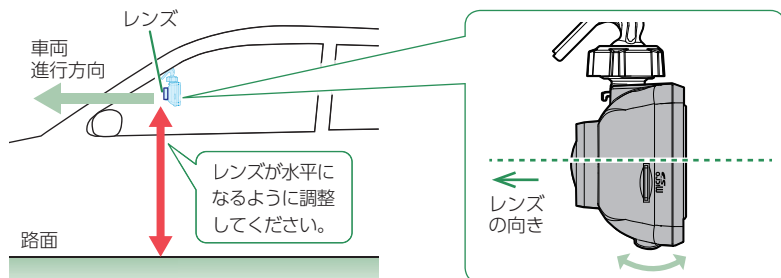
■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 フロントカメラ用ブラケットをフロントカメラユニットのジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて装着する



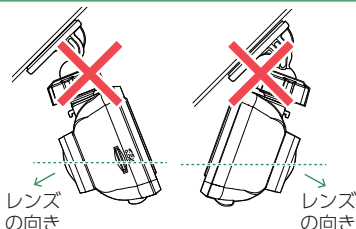
1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



- ※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。
- ※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

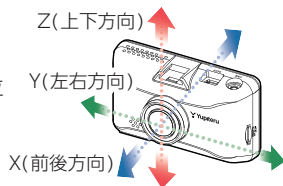
レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

- ※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。

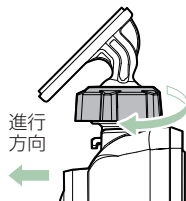


Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 5.0 G (鈍感)の0.1 G単位で設定できます。(P.52)

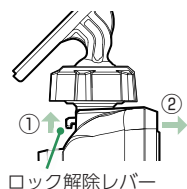


1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

- ①ロック解除レバーを持ち上げる
- ②本体を矢印の方向へスライドさせる



- ※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
- ※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
- ※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

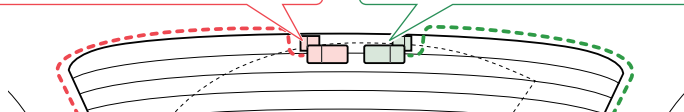
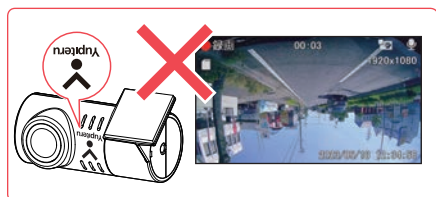
2. リアカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

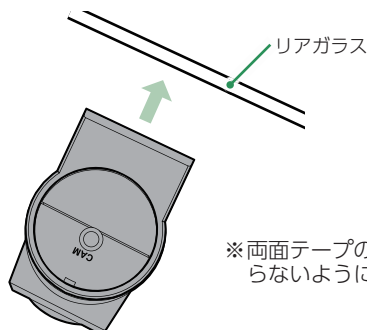
※リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご使用ください。

⚠ 注意

付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。



2-1 リアカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、リアガラスに取り付ける



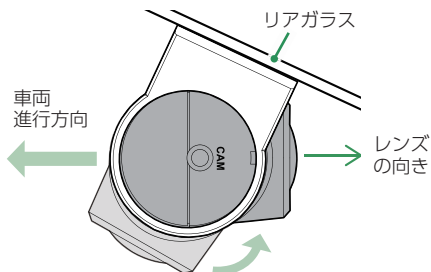
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落のおそれがあります。
- ・固定力を強くするために24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

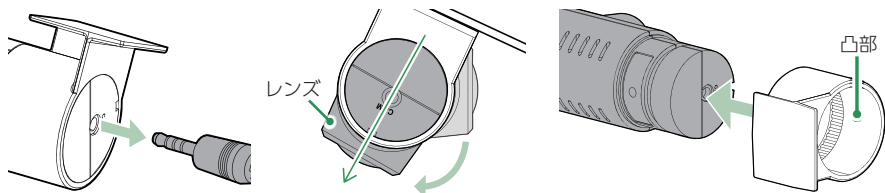
2-2 レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合



リアカメラユニットの取り外し方法

- ①リアカメラケーブルを取り外す。
- ②レンズを下図の位置まで回す。
- ③リアカメラユニットをリアカメラ用ブラケットから引き抜く。



※ リアカメラ用ブラケットには凸部があり、無理に引き抜こうとすると破損の原因となります。
必ず②の位置まで回してから取り外してください。

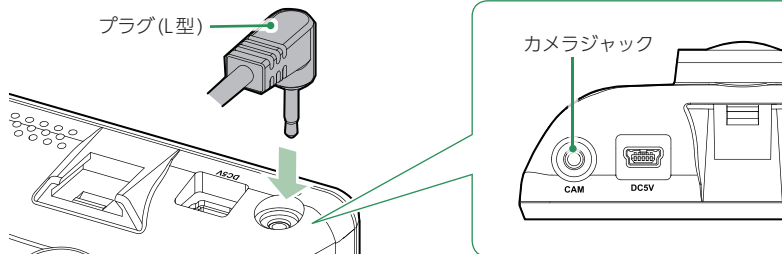
3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかり差し込んでください。プラグをしっかりと差し込まないと、リアカメラの映像を記録できない場合があります。

※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

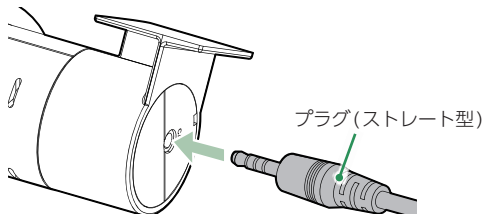


付属のリアカメラケーブルのプラグをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

※フロントカメラユニットにはプラグ(L型)をご使用ください。プラグ(ストレート型)を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線のおそれがあります。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルのプラグをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品の結束バンドなどを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

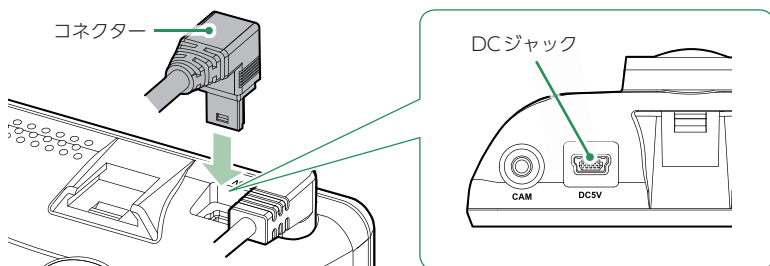
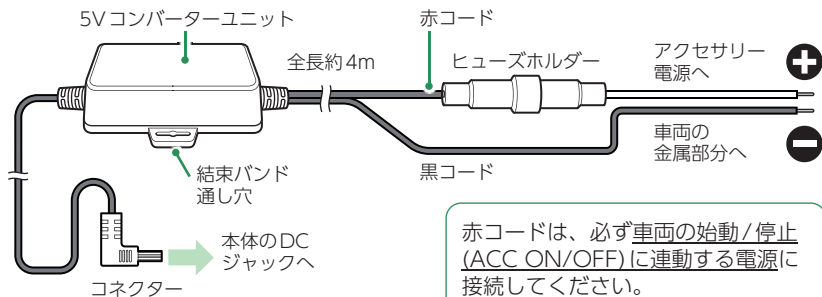
付属の電源直結コードを接続します。

※別売品で接続する場合は、「別売品の取り付け(P.37)」を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

4-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※ 付属の電源直結コードをご使用ください。

※ 電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-2 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

別売品の取り付け

1. 12V/24V 対応電源直結コード(OP-E1160)の接続方法

接続方法は付属の電源直結コードと同様になります。詳しくは P.35 「電源を接続する」を参照ください。

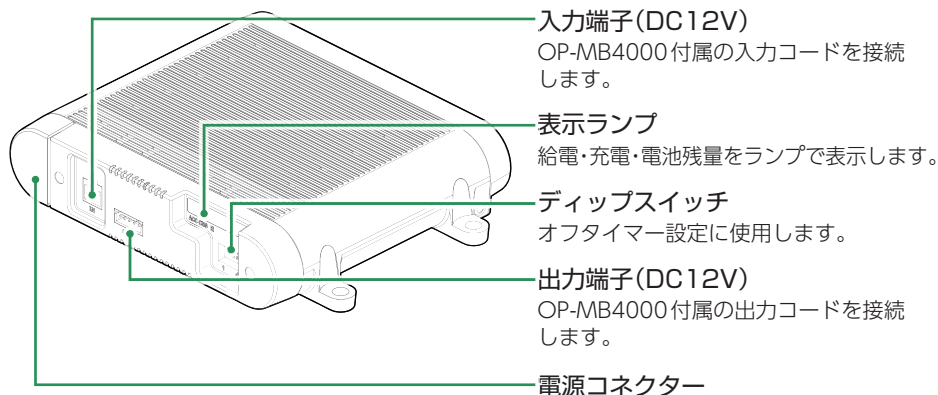
※電源はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

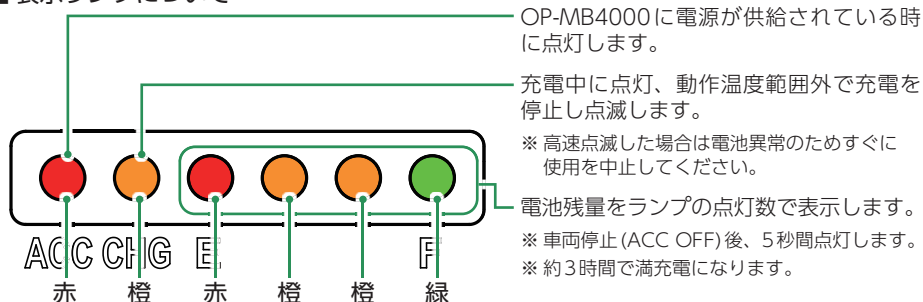
⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000



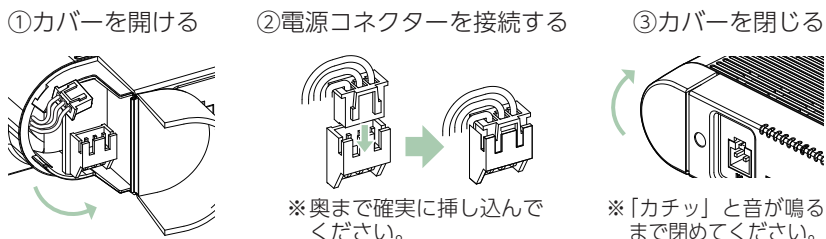
■ 表示ランプについて



■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード
- ③ OP-MB4000 付属出力コード ④ 電源直結コード (ドライブレコーダー付属)
- ⑤ 市販品接続端子 (ギボシ端子など)

2-1 電源コネクターを接続する



2-2 オフタイマー設定をする

車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000の内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

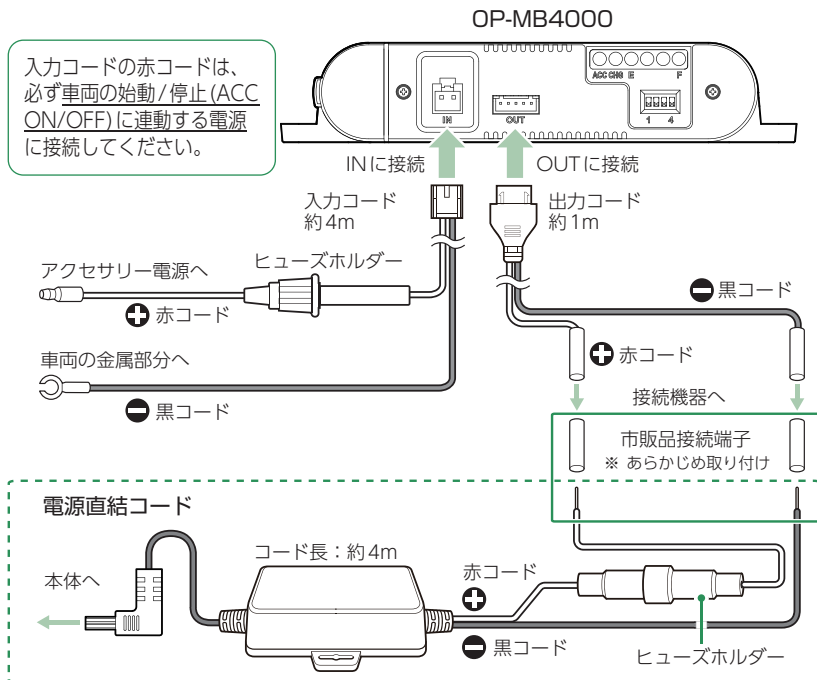
■ オフタイマー設定



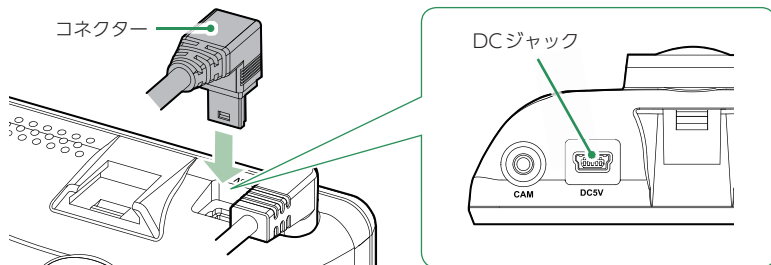
⚠ 注意

- ・オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000の内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。
- ・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-3 OP-MB4000を車両に接続する



2-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

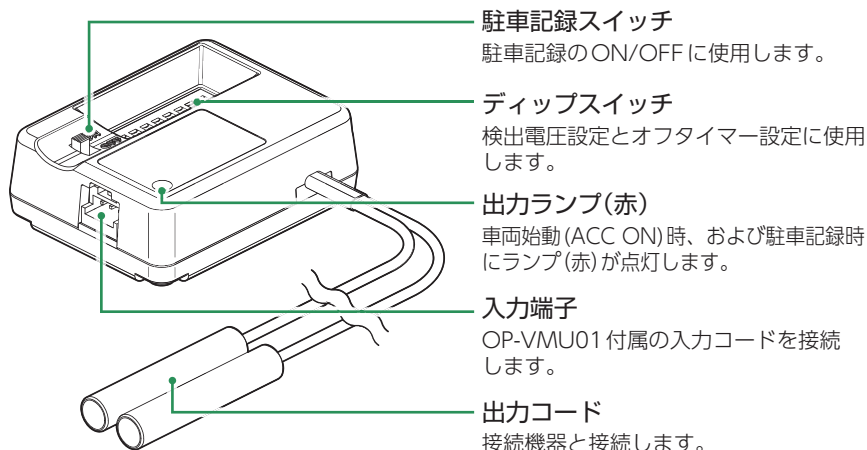
3. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法



注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がり原因となります。
※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。
- ・車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

■ OP-VMU01



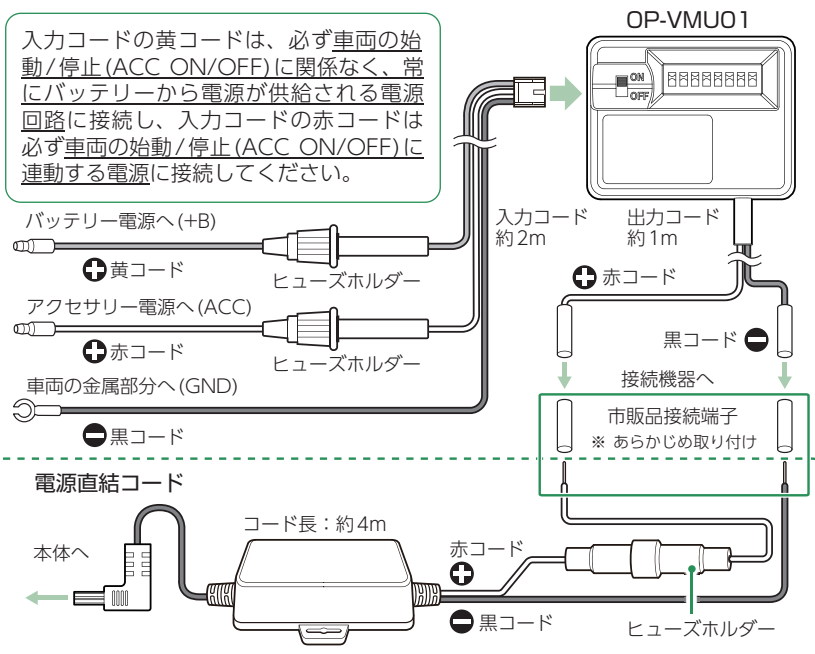
■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード
③ 電源直結コード(ドライブレコーダー付属)^{※1} ④ 市販品接続端子(ギボシ端子など)

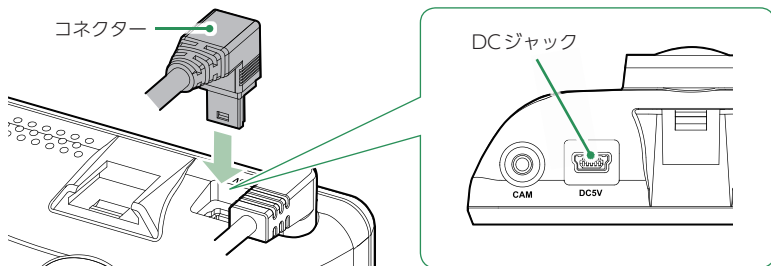
※1：24V車に接続する場合、別売品 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。

3-1 OP-VMU01 を車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源に接続してください。



3-2 電源直結コードを接続する



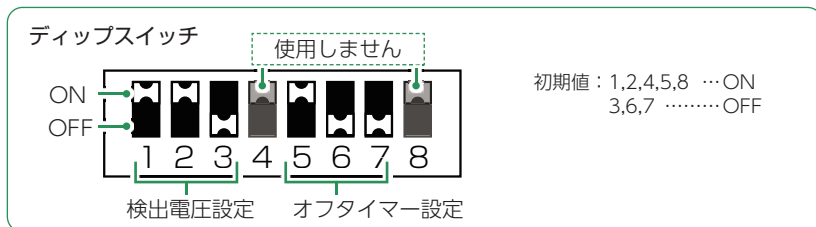
付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

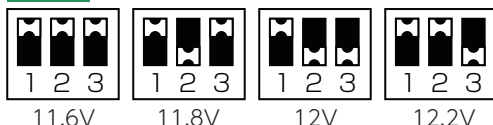
車両停止(ACC OFF)後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止(ACC OFF)後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

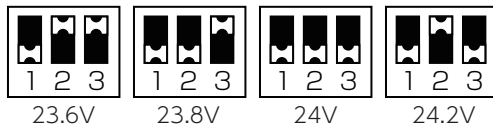


■ 検出電圧設定(1 ～ 3使用)

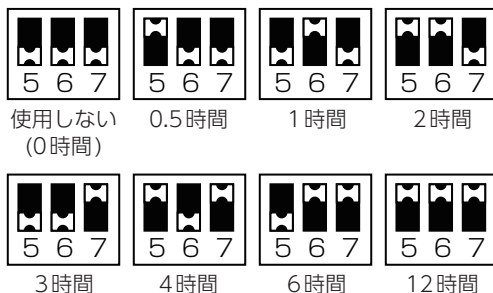
12V車



24V車



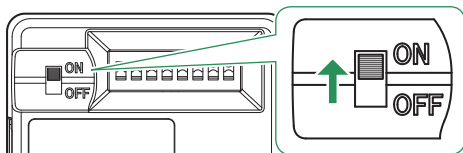
■ オフタイマー設定(5～7使用)



⚠ 注意

- ・ディップスイッチの[4][8]は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- ・オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- ・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 駐車記録スイッチをONにする



3-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動
(ACC ON)

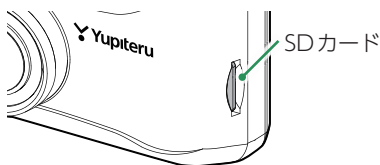


※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

車両の始動 (ACC ON) に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…

電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

➡ P.18「SDカードの取り外し / 装着」

1-2 車両を始動 (ACC ON) する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤点灯	録画中
赤点滅	イベント記録中
緑点灯	録画以外の動作
消灯	電源 OFF

録画を開始します。

電源ランプ (赤) が点灯、記録マーク ● (赤) アイコンが点滅と「録画」を表示します。

GPS を測位すると 📶 アイコンを表示し、GPS 情報を取得します。

※ GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※ GPS の測位に失敗すると、🚫 アイコンを表示します。

※ エラーメッセージを表示した場合は ➡ P.70 を参照ください。

・録画開始までの時間について

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードチェック機能について

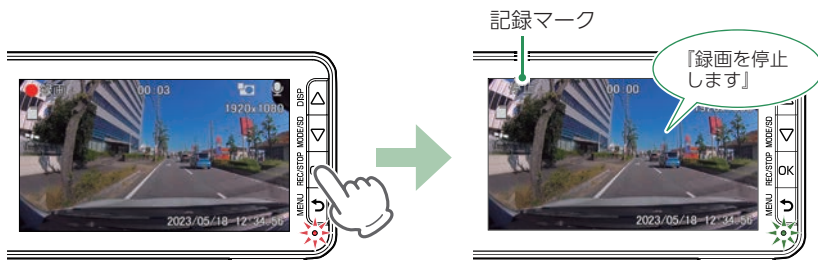
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(P.70)

・GPS測位について

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

2-1 録画中にOKボタンを押す



録画を停止します。

電源ランプ(緑)が点灯、記録マークが「停止」と表示します。

3. SDカードをフォーマットする

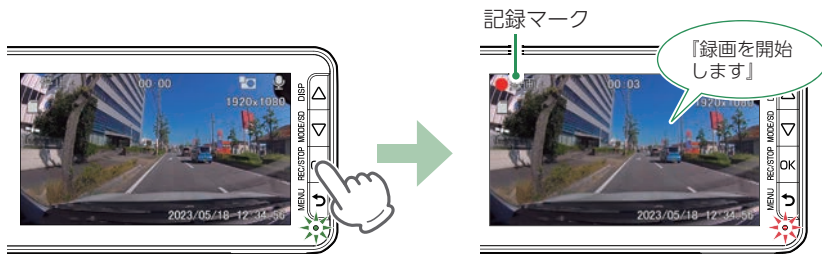
付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマット方法は、 P.12、54を参照ください。

フォーマットを行うと、録画ファイルが全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

録画ファイルのバックアップ… P.68「録画ファイルの読み出しについて」

4. 録画を再開する

4-1 録画停止中にOKボタンを押す



録画を再開します。

設定メニューの場合は 🖱 P.51、動画再生モードの場合は 🖱 P.57 を参照ください。

すべてに使う

5. ワンタッチ記録をする

常時録画中に ⚠ ボタンを押すと、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

5-1 常時録画中に ⚠ ボタンを押す



電源ランプ(赤)が点滅、記録マーク ⚠ (赤)が点滅と「イベント記録」を表示します。画面下部の進捗バーが右端までいくとワンタッチ記録を終了します。

※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。

6. 音声録音をON/OFFする

録画中に△ボタンを3秒以上長押しすることで音声録音のON/OFFを変更できます。
※設定メニューからも変更できます。(P.52)

6-1 動画記録モードで△ボタンを3秒以上長押しする



△ボタンを3秒以上長押しするたびに、音声録音ON/OFFが切り替わります。

7. 画面表示を切り替える

画面表示をフロントカメラ/リアカメラで切り替えることができます。
※リアカメラユニットの映像は正像/鏡像で切り替えることができます。(P.52)

7-1 動画記録モードで△ボタンを押す



△ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

8. 電源OFF(録画を停止する)

車両を停止(ACC OFF)に連動して録画を停止します。

8-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画が停止し、電源OFFになります。

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付電源ユニット接続時は P.49を参照ください。

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

■ A : 長時間の駐車の場合(タイムラプスモードを使用する)

A-1 車両を停止(ACC OFF)する



・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

A-2 OK ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモード (● P.26)

タイムラプスモードで録画を開始します。

A-3 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が継続している場合、録画をタイムラプスモードで継続して行います。タイムラプスモードを終了してください。(● P.27)

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が停止している場合、通常の録画を開始します。

■ B：短時間の駐車の場合(タイムラプスモードを使用しない)

B-1 車両を停止(ACC OFF)する



・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

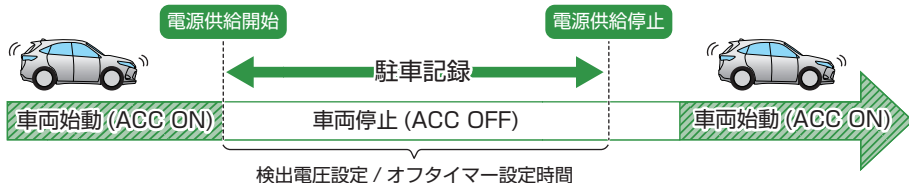
※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

B-2 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が継続している場合、録画を継続して行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が停止している場合、録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(➡ P.38、43)

※マルチバッテリー(OP-MB4000)はオフタイマー設定のみになります。

※強制的に駐車記録を停止する場合は、フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外してください。(➡ P.11)

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 録画停止中に↻ボタンを押す



設定	
解像度	1080P (1920x1080)
リアカメラ	正像
音声録音	ON

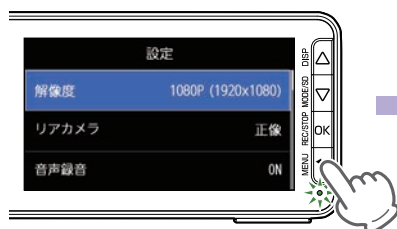
<設定メニュー>

設定メニューを表示します。
録画中の場合は、OKボタンを押して録画を停止してください。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 設定メニューで↻ボタンを押す



録画を開始します。

設定メニュー

設定	
解像度	1080P (1920×1080)
リアカメラ	正像
音声録音	ON

設定	
音量	MID
操作音	ON
上書き設定	全て上書き

設定	
フリッカレス機能	60 Hz
画面自動オフ	常時ON
Gセンサー設定	ON

設定	
Gセンサー感度	
日時設定	
言語	日本語

設定	
SD初期化	
設定初期化	
バージョン情報	FW Ver.:XXXXXXX

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
解像度	1080P(1920×1080)(★)	フロント/リアカメラの解像度を選択します。 ※ 個別で解像度を変更することはできません。 ※ 変更する場合、フォーマットが必要になります。
	720P(1280×720)	
リアカメラ※1	正像(★)	リアカメラで撮影、記録する映像を正像/鏡像で切り替えることができます。
	鏡像	
音声録音	OFF	音声録音のON/OFFを選択します。
	ON(★)	
音量	OFF	本機の音量を選択します。 ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音声、メッセージの音声、録画ファイル再生音に反映されます。
	LOW	
	MID(★)	
	HIGH	
操作音	OFF	操作音のON/OFFを選択します。
	ON(★)	
上書き設定	全て上書き(★)	詳細は P.23 を参照ください。
	常時録画上書き	
	上書き禁止	
フリッカレス機能※2	50Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz、西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
	60Hz(★)	

※1：リアカメラ未接続時は、項目が表示されません。

※2：フロントカメラのみ対応。

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
画面自動オフ	常時 ON(★)	無操作で設定時間が経過すると、画面表示を自動的に OFF する時間を選択します。 画面を表示させる場合は、いずれかのボタンを押してください。
	1 分	
	3 分	
	5 分	
G センサー 設定	OFF	G センサー記録を使用するか ON/OFF で設定します。
	ON(★)	
G センサー 感度	X: 0.5 ~ 5.0G (1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	Y: 0.5 ~ 5.0G (1.0G★)	
	Z: 0.5 ~ 5.0G (1.0G★)	
日時設定	—	日付や時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でも GPS の日時情報が優先され、変更されます。
言語	日本語(★)	本機の表示言語を選択します。 ※ [English] の場合、音声によるお知らせはしません。
	English	
SD 初期化	—	SD カードを初期化(フォーマット)します。 ※ 録画ファイルが全て削除されます。
設定初期化	—	本機をご購入時の設定に戻します。
バージョン 情報	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機 能	
△ ボタン (DISP)	短押し	項目や設定値を選択したり、値を増加します。
▽ ボタン (MODE/SD)	短押し	項目や設定値を選択したり、値を減少します。
OK ボタン (REC/STOP)	短押し	項目や設定値を決定します。
⤵ ボタン (MENU)	短押し	前の画面へ戻ります。
▲ ボタン (記録ボタン)	—	使用しません。

SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。

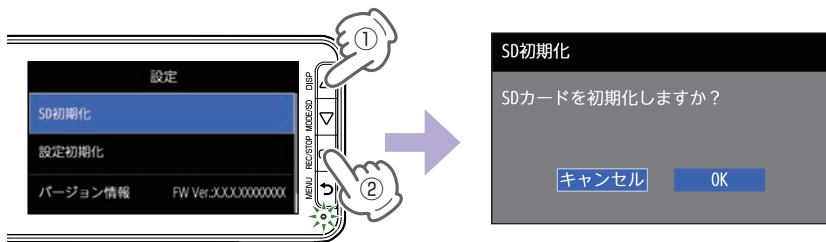
※▽ボタンでフォーマットする方法は ● P.12「SDカードをフォーマットする」を参照ください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

1. SDカードをフォーマットする

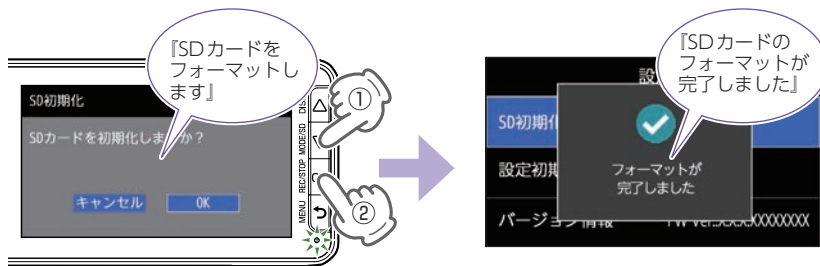
1-1 設定メニューを表示する(● P.51)

1-2 「SD初期化」を選択し、OKボタンを押す



「SDカードを初期化しますか?」と表示します。

1-3 「OK」を選択し、OKボタンを押す



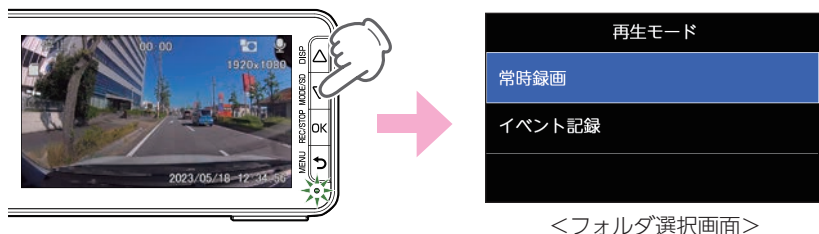
「SDフォーマット中です 電源を切らないでお待ち下さい」⇒「フォーマットを完了しました」と表示し、完了します。

OKボタンを押すと表示画面は消えます。

再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

1-1 録画停止中に▽ボタンを押す



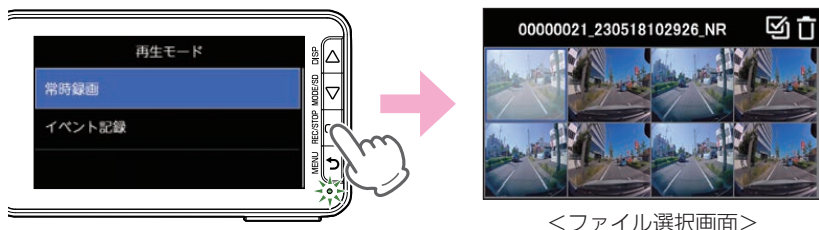
再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

録画中の場合は、OKボタンを押して録画を停止してください。

※タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、イベント記録のフォルダをご確認ください。

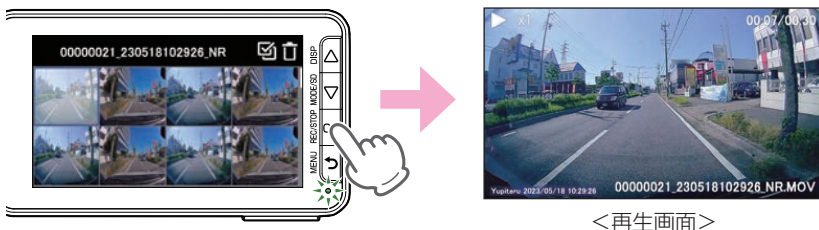
2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 再生したいフォルダを選択し、OK ボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

2-2 再生したい録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す



録画ファイルが再生します。

再生時のボタン機能は ● P.59 を参照ください。

※ 記録方法によって動画の1ファイル単位は異なります。(● P.74「録画ファイル構成」)

※ 1ファイルの再生が終了すると停止します。本機上で、複数ファイルの連続再生はできません。

3. 録画を再開する

再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 再生画面で、 ボタンを押す



<ファイル選択画面>

ファイル選択画面を表示します。

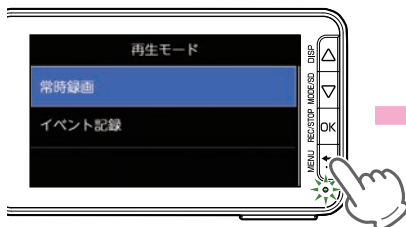
3-2 ボタンを押す



<フォルダ選択画面>

フォルダ選択画面を表示します。

3-3 ボタンを押す



録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は P.55 を参照ください。



<ファイル選択画面>



<再生画面>

No.	表示名	説 明
①	ファイル名	選択中のファイル名を表示します。 <u>00000001</u> - <u>230518123456</u> - <u>N F</u> ファイル番号 記録日時(年月日時分秒) ※ 年は年の末字 2桁 2023 ファイルの種類 ————— N: 常時録画、G: Gセンサー記録、S: ワンタッチ記録、 L: タイムラプス カメラの種類 ————— F: フロントカメラ、R: リアカメラ
②	全選択	全てのファイルを選択/選択解除します。  /  (選択時: 青)
③	削除	選択したファイルを削除します。(P.60)  /  (選択時: 青)
④	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを青枠で表示します。
⑤	動作アイコン	 再生中に表示します。
		 早送り中に表示します。
		 早戻し中に表示します。
		 一時停止中に表示します。
⑥	再生速度	再生速度を表示します。(x1 ~ 4)
⑦	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。

■ 動画再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機 能	
 ボタン (DISP)	ファイル選択時		前のファイルを選択します。
	ファイル再生時		再生速度を切り替えます。(早送り)
 ボタン (MODE/SD)	ファイル選択時		次のファイルを選択します。
	ファイル再生時		再生速度を切り替えます。(早戻し)
OK ボタン (REC/STOP)	ファイル選択時		録画ファイルを再生します。
	ファイル再生時		再生 / 一時停止します。再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度 (x1) になります。
 ボタン (MENU)	ファイル選択時		前の画面へ戻ります。
	ファイル再生時		
 ボタン (記録ボタン)	ファイル選択		 (削除) アイコンまで移動します。
	ファイル再生時	—	使用しません。

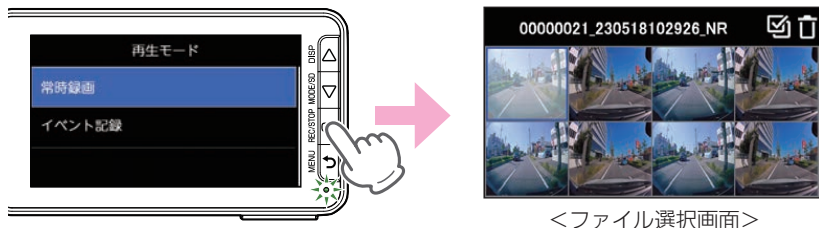
録画ファイルの削除

※SDカード内の録画ファイルをすべて削除する場合は、SDカードフォーマットを行ってください。
(☞ P.12、54)

1. 録画ファイルを削除する

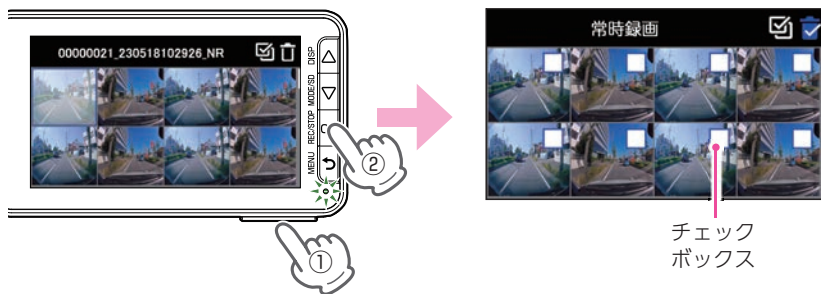
1-1 再生モードを表示する(☞ P.55)

1-2 削除したい録画ファイルがあるフォルダを選択し、OK ボタンを押す



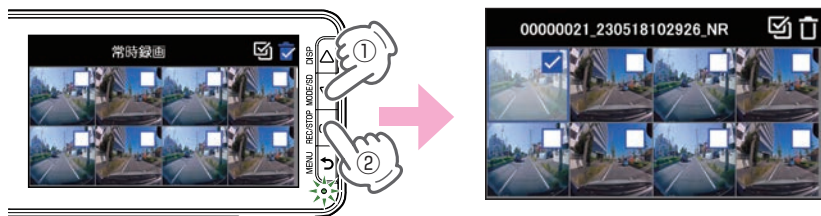
ファイル選択画面を表示します。

1-3 画面右上の / (削除) アイコンを選択し、OK ボタンを押す



録画ファイルにチェックボックスが表示されます。

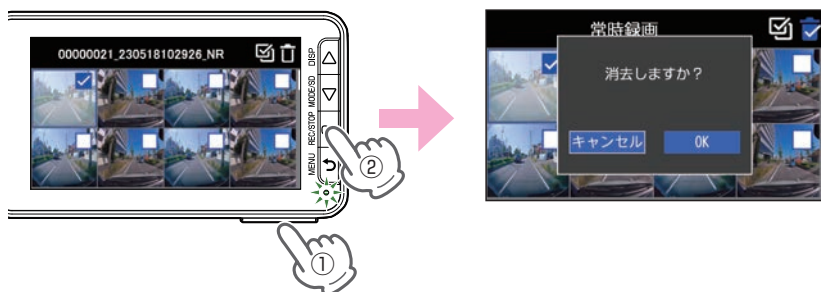
1-4 削除したい録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す



録画ファイルにチェックが入ります。

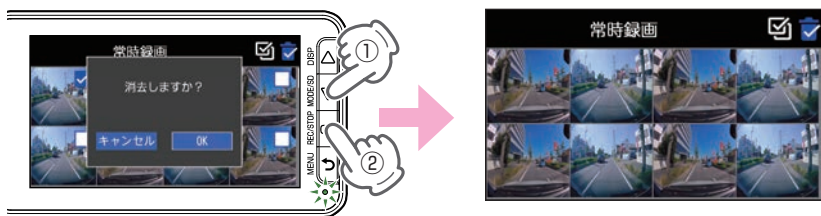
※フォルダ内全ての録画ファイルを削除する場合は / (全選択) アイコンを選択し、OK ボタンを押して全ての録画ファイルにチェックを入れてください。

1-5 画面右上の / (削除) アイコンを選択し、OK ボタンを押す



「消去しますか?」と表示されます。

1-6 [OK] を選択し、OK ボタンを押す



選択した録画ファイルを削除します。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeM」をインストールすることにより、Google マップと連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_m.html)
下記の仕様を満たしたパソコンで再生できます。

OS	Microsoft Windows 11、10 (64bitのみ)
CPU	Intel Core i3、2.7GHz 以上
RAM	4GB 以上

(2023年5月現在)

※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※Windows のアップデートやGoogle マップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 デスクトップにある[PCViewer TypeM]アイコンをクリックする

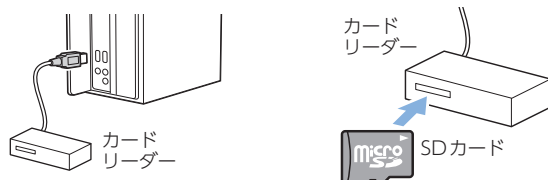


・専用ビューアソフトの詳細は…
➡ P.65「専用ビューアソフト」

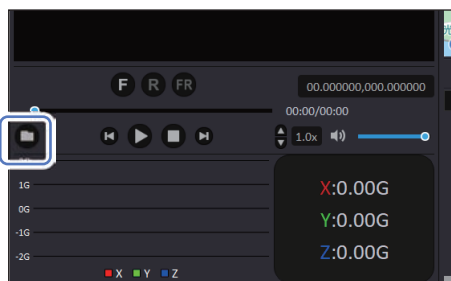
専用ビューアソフトが起動します。

3. 録画ファイルを再生する

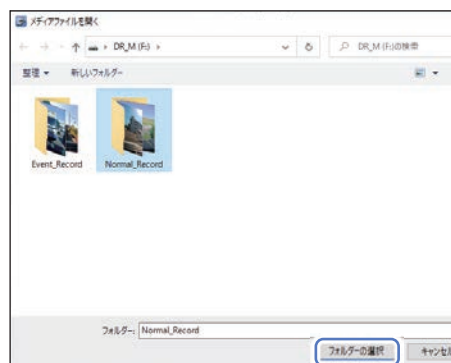
- 3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



- 3-2  をクリックする



- 3-3 接続したSDカードのフォルダを選択し、[フォルダーの選択]をクリックする



- ・フォルダ名について
常時録画…「Normal_Record」
フォルダ
イベント記録…「Event_Record」
フォルダ

※ タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、イベント記録のフォルダをご確認ください。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。



・専用ビューアソフトの詳細は…
 ➡ P.65「専用ビューアソフト」

日付が古い録画ファイルから自動で再生します。

3-4 再生したい録画ファイルをダブルクリックする



選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。<https://www.yupiteru.co.jp/>

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



＜フロント+リア映像表示＞



＜フロント映像表示＞



＜リア映像表示＞

No	表示名	説 明
①	バージョン表示	専用ソフトのバージョンを表示します。
②	フロントカメラ映像ウィンドウ	映像を表示します。 ダブルクリックで映像の全画面表示／プレーヤ内表示を切り替えます。
③	リアカメラ映像ウィンドウ	※ 電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になることがあります。故障ではありません。あらかじめご了承ください。
④	表示切替	アイコンをクリックすると、映像表示が切り替わります。 F ：フロント映像表示 R ：リア映像表示 FR ：フロント＋リア映像表示
⑤	緯度経度	GPS で記録した緯度経度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。
⑥	タイムライン	クリックした位置から再生できます。
⑦	再生時間	再生中の現在時刻 / 全体時間を表示します。
⑧	メディアファイルを開く	フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。
⑨	ファイルコントロール	 前へ 前の録画ファイルを再生します。
		 再生 ／一時停止 録画ファイルを再生／一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
		 停止 再生中の録画ファイルを停止します。再度、再生すると録画ファイルの最初からになります。
		 次へ 次の録画ファイルを再生します。
		 再生速度を上げる クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ～ 2.0x)
		 再生速度を下げる クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ～ 0.5x)
⑩	音量	 をクリックでミュート ON/OFF できます。 音量バー () を左右操作で音量を調整できます。
⑪	G センサーグラフ	映像ファイルに埋め込まれている G センサーデータを X 軸、Y 軸、Z 軸でグラフと数値で表示します。
⑫	再生リスト	録画ファイルのファイル名を表示します。 ※ ファイル名の詳細は  P.68 を参照ください。
⑬	走行速度	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。

No	表示名	説 明	
⑭	地図	読み込まれた映像は Google マップに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図 (Google マップ) は表示されません。	
⑮	プログラム	 設定	言語、地図の大きさを変更できます。 (☞「設定について」)
		 最小化	ウィンドウを最小化します。
		 最大化 / 元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
		 閉じる	ソフトウェアを終了します。

2. 設定について

プログラムの  をクリックすることで言語、地図の大きさを変更できます。

※ 設定変更後は、[保存する]をクリックしてください。
クリックしない場合、設定は反映されません。

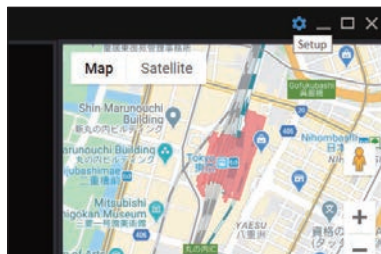


■ 言語

表示言語を (JP) 日本語 / (EN) English から選択できます。(初期値：(JP) 日本語)



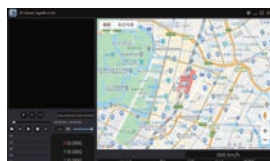
<(JP) 日本語>



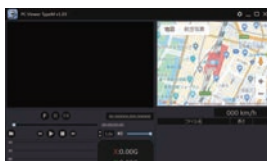
<(EN) English>

■ 地図の大きさ

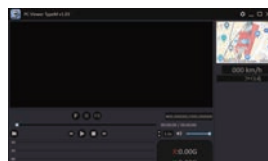
地図の大きさを大 / 中 / 小から選択できます。(初期値：中)



<大>



<中>



<小>

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像や画像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

OS	Microsoft Windows 11、10 (64bitのみ)
CPU	Intel Core i3、2.7GHz 以上
RAM	4GB 以上

(2023年5月現在)

- ※ CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
- ※ 対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※ 本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は記録した順に本機で自動設定されます。

例: 00000001 - 230518123456 - N F . MOV — 動画

ファイル番号 記録日時(年月日時分秒)
※ 年は年の末字2桁 2023

カメラの種類
F: フロントカメラ、R: リアカメラ

ファイルの種類
N: 常時録画、G: Gセンサー記録、
S: ワンタッチ記録、L: タイムラプス

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

- Normal_Record — 00000001_230518123456_NF.MOV
00000001_230518123456_NR.MOV
⋮
- Event_Record — 00000002_230518123526_GF.MOV
00000002_230518123526_GR.MOV
⋮

⚠ 注意

パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。その際は、本機でフォーマットを行ってください。

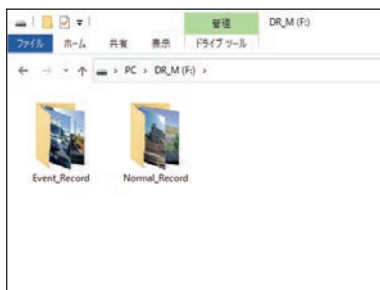
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く

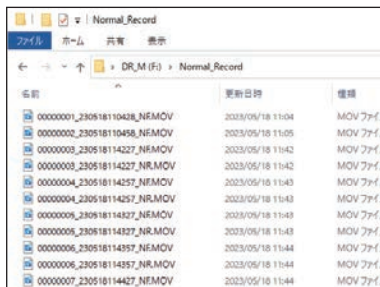


・フォルダ名について

常時録画…「Normal_Record」フォルダ
イベント記録…「Event_Record」フォルダ

※ タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、イベント記録のフォルダをご確認ください。

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



Windows 標準の「映画&テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音声でお知らせします。

※音量[OFF]にしている場合、音声は鳴りません。

※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

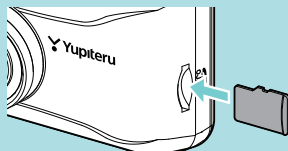
メッセージ



SDカードが
挿入されていません

対処方法

- ☐ SDカードを挿入、または再挿入してください。
SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



※ SDカードの向きに注意して挿入してください。



イベント領域が
いっぱいです

- ☐ ファイル容量がSDカード容量の上限に達しています。
録画ファイルを削除し、SDカードの空き容量を増やすと
お使いいただけます。
また、メッセージが頻繁に表示される場合は下記をご確認ください。
 - ・ 録画設定の解像度を下げる。(P.52)
 - ・ 上書き設定を変更する。(P.52)
 - ・ 容量が大きいSDカードで本機を使用する。



SDカードが
いっぱいです



SDカードエラー

- ☐ 本機に対応したSDカードをご確認ください。
記録媒体：microSDHC/microSDXC カード
容量：16~128GB
スピードクラス：Class 10以上



SDカードを
初期化してください

- ☐ SDカードをフォーマットしてください。
(P.12、54)



SD低速のため録画失敗
する恐れがあります

- ☐ フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、
新しいSDカードに交換してください。



対応していない
SDカードです

- ☐ 本機に対応したSDカードをご確認ください。
記録媒体：microSDHC/microSDXC カード
容量：16~128GB
スピードクラス：Class 10以上

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。(● P.28)

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

- ☐ リセットボタンを押して再起動してください。(● P.15)
- ☐ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードかご確認ください。(● P.76)
- ☐ 画面自動オフの設定をしていませんか。(● P.52)
いずれかのボタンを押して画面を表示してください。
- ☐ 本体内部が高温になっていませんか。
本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない

- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両停止(ACC OFF)後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(● P.11)

イベント記録ファイルが生成されない

- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(● P.22)
- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合、フォルダ移動できず常時録画フォルダに残ってしまう場合があります。その際は、常時録画フォルダをご確認ください。(● P.55、63、69)

録画ファイルがない

- ☐ 上書きされていませんか。
初期値では上書き設定「全て上書き」のため上限に達すると上書きされます。(● P.23)
- ☐ 各専用フォルダを確認してください。(● P.20、68)

モニター画面に斑点や輝点がある

- ☐ 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

リアカメラの映像が映らない

- ☐ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。
リアカメラユニットが接続されているかアイコンで確認してください。



: リアカメラユニット接続時



: リアカメラユニット未接続時

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。
SDカードが挿入/認識されているかアイコンで確認してください。



: SDカード挿入時



: SDカード未挿入時

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図 (Google マップ) は表示されません。
- ☐ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図 (Google マップ) は表示されません。
- ☐ タイムラプスモードで録画していませんか。
タイムラプスモードで録画した場合、GPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しません。

再生時に音声が出ない

- ☐ 音声録音はONになっていますか。
- ☐ タイムラプスモードで録画していませんか。
タイムラプスモードで録画した場合、GPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しません。

専用ビューアソフト/映画&テレビで再生できない

- ☐ 下記の仕様を満たしたパソコンかご確認ください。

OS	Microsoft Windows 11、10 (64bitのみ)
CPU	Intel Core i3、2.7GHz 以上
RAM	4GB 以上

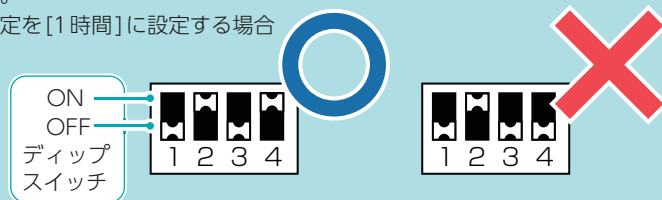
(2023年5月現在)

電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 駐車記録スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(● P.44)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両停止 (ACC OFF) 後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ 車両停止 (ACC OFF) 時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。
(● P.43)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源コネクターは接続されていますか。
電源コネクターが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両停止 (ACC OFF) 後の本機への電源供給が行われません。(● P.38)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両停止 (ACC OFF) 後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両停止 (ACC OFF) 後の本機への電源供給が行われません。
例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



仕様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】 89(幅) × 51(高さ) × 35(奥行)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 83(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合) 【リア】 55(幅) × 25(直径)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 34(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	【フロント】 約 125g (microSD カード含む) 【リア】 約 28g
記録媒体	microSD カード (16GB 付属) 16GB ~ 128GB (Class 10 以上)
撮像素子	200 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ¹)
レンズ画角	【フロント】 対角 170° 【リア】 対角 162°
最大記録画角	【フロント】 対角 160° (135° (水平)、75° (垂直)) 【リア】 対角 150° (130° (水平)、70° (垂直))
記録解像度	最大 200 万画素 1080P(1920×1080)、720P(1280×720)
F 値	【フロント】 1.9 【リア】 1.8
GPS	有
G センサー	有 (感度設定可能)
HDR	有 (フロント/リア)
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>) / 駐車記録 (タイムラプス)※ ²
録画ファイル構成	30 秒単位、15 分単位※ ³
画面サイズ	【フロント】 3.0 インチ フルカラー TFT 液晶
音声録音	ON / OFF 可能
フレームレート	28 コマ / 秒、1 コマ / 秒※ ³
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法※ ⁴	・ 専用ビューアソフト「PC Viewer TypeM」 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・ Windows 標準の「映画 & テレビ」
電源電圧	DC12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	12.5W
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 60℃
製品保証期間	3 年 (消耗品は除く)

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※ 1 : STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※ 2 : 駐車記録には別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット (OP-VMU01) が必要です。

※ 3 : タイムラプスモード中のみ。

※ 4 : Microsoft Windows 11、10(64bitのみ) に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃～+60℃
外形寸法	46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

- ・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
- ・Google、Google マップは、Google LLC の商標です。
- ・[Windows®]、[Microsoft®Windows®]は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。
- ・[microSD™]は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
- ・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

- ※本機と市販品のmicroSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
- ※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ※容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなる場合があります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC/microSDXC カード
容量	16 ～ 128GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SDカード 容量	通常時		タイムラプスモード時	
	1080P(1920×1080) (初期値)	720P(1280×720)	1080P(1920×1080) (初期値)	720P(1280×720)
16GB(付属)	約 50 分	約 100 分	約 25 時間	約 50 時間
32GB	約 100 分	約 200 分	約 50 時間	約 100 時間
64GB	約 200 分	約 400 分	約 100 時間	約 200 時間
128GB	約 400 分	約 800 分	約 200 時間	約 400 時間

- ※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ※お使用の使用状況により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	1080P(1920×1080) (初期値)	720P(1280×720)
16GB(付属)	40 件	80 件
32GB	80 件	160 件
64GB	160 件	320 件
128GB	320 件	640 件

- ※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ※最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。
- ※1件につき2ファイル(フロント+リア)移動した場合。

索引

D

DCジャック	14
DISP ボタン.....	59

F

F 値	74
-----------	----

G

GPS	46, 72, 74
G センサー	74
G センサー感度	23
G センサー記録	22

H

HDR	74
-----------	----

M

MENU ボタン.....	15, 20, 53, 59
MODE/SD ボタン.....	15, 20, 53, 59

O

OP-E1160	17, 28, 37
OP-MB4000	17, 28, 37, 75
OP-SD32M	17
OP-SD64M	17
OP-VMU01	17, 28, 41, 75

R

REC/STOP ボタン.....	15, 20, 53, 59
-------------------	----------------

S

SD カード	10, 16, 17, 18, 76
SD スピードクラス	76

あ

アフターサービス	79
----------------	----

い

イベント記録	20, 22
--------------	--------

う

上書き禁止	24
-------------	----

え

映像ファイル形式	74
----------------	----

お

お客様ご相談センター	79
音声録音	48, 74

か

外形寸法	74
画面サイズ	74

き

記録解像度	74
記録媒体	74, 76
記録方式	74
記録ボタン	14, 20, 53, 59

さ

再生方法	74
最大記録画角	74
撮像素子	74

し

常時録画	20, 22
常時録画上書	24
消費電力	74
シリアルナンバー	14

す

スピーカー	14
全て上書き	24

せ

製品保証期間	74
設定メニュー	52
専用ビューアソフト	62, 65

た

タイムラプスモード	25
-----------------	----

て

電圧監視機能付 電源ユニット...	17, 28, 41, 75
電源直結コード	16, 17, 28, 36, 37
電源電圧	74
電源ランプ	14, 45

と

動画記録モード	19
動作温度範囲	74

は

バックアップ機能	11
----------------	----

ふ

ファイル消去	60
ファイル名	68
フォーマット	12, 54
フォルダ構造	68
付属品・別売品の購入	17
ブラケット	16
フレームレート	74

索引

ほ

本体重量 74

ま

マイク 14

マルチバッテリー 17, 28, 37, 75

め

メンテナンス 28

よ

容量 76

り

リセットボタン 14, 15

れ

レンズ 14, 15

レンズ画角 74

ろ

録画時間 76

録画ファイル構成 74

わ

ワンタッチ記録 23, 47

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>